



3月11日(金)

「源流どぶろく上代」がみごと入賞 「第11回全国どぶろく研究大会」上越 どぶろくコンテスト」

新 湯原上越市で3月11日(金)に行われた、全国のどぶろく製造者が製品のでき栄えを競う「どぶろくコンテスト」淡麗の部で、(株)上代の「源流どぶろく上代」が入賞しました。

これは、どぶろくの製造・販売をする関係者およそ300人が全国各地から集まり、製造技術や品質の向上を目的として、講演会や事例発表を行う「第11回全国どぶろく研究大会」上越「内」で開催されました。

コンテストには、濃芳醇の部(コクがあり、糖度と酸味の高いもの)に48銘柄、淡麗の部(さっぱりとした、糖度と酸味の低いもの)に49銘柄の応募がありました。「源流どぶろく上代」は、淡麗の部でみごと入賞を果たしました。



▲表彰状を受ける(株)上代取締役の安達良文氏



「源流どぶろく上代」受賞歴

第7回(どぶろく)コンテスト入賞
第8回(どぶろく)コンテスト最優秀賞
第11回(どぶろく)コンテスト入賞(3回)

3月21日(月・土曜)

消防士への思いさらに強く 中学生3人が「一日消防士」

岸

本中学2年の生駒純希くん、伊澤晃平くん、野口横斗くんの3人が3月21日(月・振替)、米子消防署伯耆出張所で「一日消防士」に任命され、職員らと火災の予防啓発活動を行いました。

3人は、昨年の職場体験で同所に学んだことが縁となり、今回初めてとなる中学生の「一日消防士」に任命されました。

3人は消防車と救急車に分かれて町内をパレードした後、溝口小学校前庭で子どもたちに消火器の使い方を教えたり、溝口駅前に住民にチラシやティッシュを住民に手渡ししながら火災予防を呼びかけたりしました。

小さい頃から消防士に憧れていたという野口くんは「職員の皆さんが地域の人に丁寧に対応していて、すごいと思った。消防士になりたいという思いが強くなった」と話しました。



▲真剣な面持ちで要綱式に臨む3人(右から野口くん、伊澤くん、生駒くん)



▲街頭の住民に火災予防を呼びかけ

4月8日(金)

197人が新たな学校生活 町内小・中学校入学式

穩

やかな晴天となった4月8日(金)、町内の小学校4校と中学校2校で入学式が行われました。

日光小学校と統合してから初めてとなる溝口小学校の入学式では、上級生や先生、保護者が見守る中、新入生たちは緊張した面持ちで式に臨みました。

新入生は、担任から名前が読み上げられると、「はい」と元気いっぱい返事をしました。

▼名前を呼ばれて元気に応える新入生



平成28年度入学人数

(内数字は前年度比較)

小学校 97人(+8人)
中学校 100人(+6人)

*岸本小学校 49人

溝口小学校 25人

八郷小学校 13人

二部小学校 10人

岸本中学校 71人

溝口中学校 29人

11人

7人

29人

11人

7人

29人

11人